

博物館だより



〔収蔵資料紹介〕 絵葉書「高岡古城公園」

年代：明治40年～大正6年（1907～17）， 寸法：縦10.0cm×横14.8cm， 当館蔵

高岡古城公園の二の丸（現・市民会館）一本丸間の土橋石垣が認められる絵葉書。おそらく鍛冶丸（現・博物館）一二の丸間の土橋から撮影されたものと考えられる。ここまで鮮明に、大きく石垣が写されたものは極めて少なく、大変貴重な資料であるといえる。

加賀前田家2代当主前田利長（1562～1614）は、慶長14年（1609）高岡城を築城し、城下町高岡を開いた。同19年（1614）利長の死の翌年に城は廃城となるが、3代利常の城下町から商工業の町へ転換する再興政策により、城の水堀や郭が良好に保存された。明治8年（1875）には公園指定を受け、現在は「高岡古城公園」として人々に親しまれている。

今後は、国史跡「高岡城跡」（平成27年3月10日指定）としても整備が期待される場所である。



利長くん

平成27年度の高岡市立博物館

◆常設展「高岡ものがたり ー楽しく知ろう！ひらめき・ミュージアムー」

【お宝コーナー】

平成27年度、本展示コーナーでは5つのミニ展示を行いました。「高岡の引札」（会期：4/1～4/23、5/19～6/14）では、高岡山町の旧家・室崎家に伝わった明治から大正期頃の高岡の引札（計10点）を展示・紹介しました。「高岡町医・佐渡家あて前田利長書状展」（会期：4/24～5/17）では、佐渡家の由緒を伝える前田利長書状を中心とした古文書（計5点）を展示・紹介しました。「山田館夫氏寄贈 郷土の名刀・宇多刀展」（会期：7/1～8/16）では、これまでに山田館夫氏より当館へ寄贈された宇多刀（計3口）を展示・紹介しました。「藤子・F・不二雄先生の手紙と色紙」（会期：9/3～10/18）では、当館に寄贈・寄託された藤子・F・不二雄氏直筆の手紙と色紙（計3点）を展示・紹介しました。「山岡鉄舟筆《国泰寺奉納千双屏風》」〔前期：12/19～1/24（右隻）／後期：1/26～2/28（左隻）〕では剣・禅のみならず、書にも優れた山岡鉄舟が、高岡市を代表する古刹の一つである国泰寺再興のために揮毫・奉納した「千双屏風」（6曲1双）を展示・紹介しました。

【民具コーナー】「むかしの人はどんな道具を使っていたの？」

当館収蔵の民具を展示し、その用途や歴史について分かりやすく紹介しています。今年度よりコーナーを新設し、通年でご覧いただけるようになりました。



お宝コーナー「山田館夫氏寄贈 郷土の名刀・宇多刀展」



民具コーナー「むかしの人はどんな道具を使っていたの？」

館藏品展「高岡捺染の祖・笹原文次資料展」（会期：4/1～5/6）では、当館が収蔵する近代高岡捺染の創始者・笹原文次関係資料（計79件117点）を展示・紹介しました。特別展「国史跡指定記念 高岡城跡の魅力」（会期：7/25～10/12）では、「高岡城跡」の国史跡指定（H27.3/10）を記念し、高岡城跡詳細調査（平成20～24年度）の成果をはじめ、各館が所蔵する高岡城跡及び高岡古城公園の絵図・地図、古写真などの関係資料（計58件170点）を展示・紹介しました。現在は、企画展「幕末維新風雲通信 ～将軍家医師・坪井信良より兄佐渡養順への手紙～」(H28.2/6～)を開催中です（次年度5月8日まで開催）。

講演会は、「高岡城跡の魅力をさぐる」をテーマに、高岡城跡にまつわる様々な話題について各研究者よりご紹介いただく郷土学習講座（全4講）を開催しました。そのほか、桜の開花時期に合わせた屋上開放「古城公園展望台」（4/10～12）、毎月1回のミニ講座「高岡のみじかい話」（計11回）、当館茶室「松聲庵^{しょうせいあん}」で行う呈茶の会（4/11、11/7）、「博物館の仕事って何だろう？一きみも今日から学芸員一」（8/22）、古文書講座「初めての古文書教室」（10～12月。全6講）を開催するなど、今年度も多くの方々に博物館へご来館いただきました。



ミニ講座「安永の『朶山騒動』とは何だったのか？」
(6/11)



木越隆三氏講演「前田利長と高岡城」(8/29)



特別展「国史跡指定記念 高岡城跡の魅力」

企画展「幕末維新風雲通信 ～将軍家医師・坪井信良より兄佐渡養順への手紙～」

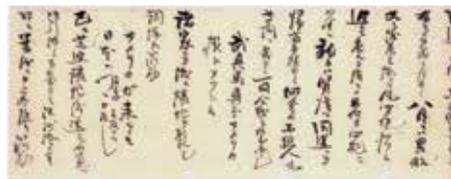
〔会期：平成28年2月6日(土)～5月8日(日)〕

婦人薬「養順湯」で知られる高岡の町医者・佐渡家の祖は、天正年間、越中砺波郡井波郷の止観寺城主で、一向一揆の拠点・瑞泉寺に味方する建部（竹部）佐渡守と伝わります。天正9年（1581）、瑞泉寺が富山城主・佐々成政と争い、講和すると、佐渡守は飛騨高山に移り、医者となりました。その後、前田利長が佐渡守を武将として迎えようとしたのですがこれを固辞しました。しかしある時、利長の「寵姫」が病にかかったため薬を求められると、献上した一服でたちまち快癒したことから、慶長14年、利長の高岡築城とともに召されて利屋町に移住し、高岡最古の医家となりました。代々「佐渡養順」を名乗り、長く当地の医業・文化に貢献しました。

8代佐渡養順は魚津町医・阿波加家の5男に生まれ、後に父の実家の高岡佐渡家の養子となります。8代は研究を重ね、婦人薬「養順湯」を開発、大きな財をなし、多くの蘭医学書等を買集め、「蒼龍館文庫」を創設しました。また高岡の蘭方医・長崎達洲の娘ととの間に、7男5女をもうけ、「佐渡家中興の祖」といわれます。

坪井信良（1823～1904）は、8代佐渡養順の2男に生まれ、京都小石塾や江戸坪井塾などで蘭医学を学び、福井藩医を経て、幕府奥医師にまでのぼりつめた人物です。その過程で築かれた豊かな人脈により、医学をはじめ社会・政治などに関する良質な最新情報が入手可能でした。信良は高岡の兄9代養順のもとへ、弘化3年から明治10年にわたる長期間、その情報を記した書簡を多数送り続けています(約200通)。兄は高岡でその情報に基づき時事を討論したと伝えられています。その内容は、昭和53年、宮地正人氏により『幕末維新風雲通信』に収録され、全国に知られており、歴史の現場に立ち会った、「第一級の史料」として高く評価されています。京都・江戸などで学問を修めた9代養順、坪井信良、阿波加脩造ら8代の息子たちは、多くの医者・文化人らと人脈を築き、また自らも当時最先端の学問・文化を嗜む教養人でもありました。そして高岡最古の町医者でもある佐渡家には、歴史的価値のある多くの文物が集積されてきました。

本展では、佐渡家の由緒書や前田利長・利常書状、初公開となる坪井信良より高岡の兄に宛てた書簡類、信良が福井藩主・松平春嶽より拝領し佐渡家に贈った文房具や、大槻磐溪・小石元瑞・坪井信道など著名な学者らの書などを展示・紹介します。



坪井信良書簡(部分) 嘉永6年(1853)7月12日付
13代佐渡養順(豊)氏蔵

◆新収蔵資料紹介 (平成28年1月31日現在)

・購入 (22件36点。購入順。一括資料は仮に1点と計上)

No.	資料名称	点数	分類
1	戦時下腕章「高岡・旅籠町 防空団」	2	民俗
2	高岡名勝絵葉書	3	歴史
3	雨晴風景絵葉書	8	歴史
4	高岡御車山絵葉書	2	歴史
5	高岡中学校創校10年記念絵葉書	1	歴史
6	高岡市観光イラストマップ	1	歴史
7	「卒業生交名一覧 高岡町高等学校」	1	歴史
8	絵葉書「高岡公園大広場」	1	歴史
9	絵葉書「(高岡名勝) 古城公園」	1	歴史
10	絵葉書「(高岡名勝) 高岡市街の景」(御馬出町)	1	歴史
11	絵葉書「(高岡名勝) 前田利長公の墓」	1	歴史
12	絵葉書「(高岡名勝) 停車場構内」	1	歴史
13	絵葉書「(高岡名勝) 高岡市役所」	1	歴史
14	絵葉書「(高岡名勝) 古城公園広場と瑞龍前田公遺徳碑」	1	歴史
15	絵葉書「(高岡名勝) 古城公園桜の中ノ島」	1	歴史
16	絵葉書「(高岡名勝) 古城公園桜の太鼓橋」	1	歴史
17	「祖庭 長岡安平翁遺徳稿」	1	歴史
18	射水郡二塚村 青木家文書	(一括)	歴史
19	国泰寺山門指図 (二十分の一)	1	歴史
20	砺波郡相摸番付	4	民俗
21	「新板金沢道中双六」(歌川芳員画)	1	民俗
22	「新板 北陸道中巡覧双六」	1	民俗

・寄贈 (39件263点。受入順)

No.	資料名称	点数	分類	寄贈者
1	鉄道関係資料	31	歴史	匿名希望
2	絵葉書「越中ことば 観光富山県」	6	歴史	土田紀代子氏
3	富山県内記念絵葉書	19	歴史	匿名希望
4	書簡図録「庄川峡と加越鉄道」	1	歴史	匿名希望
5	高岡郵便局消印(天皇陛下御即位二十周年記念切手)	1	歴史	太田久夫氏
6	高岡駅入場券	1	歴史	太田久夫氏

7	マンガ(馬鉄)	1	民俗	匿名希望
8	太刀 銘 宇多国宗	1	美術	山田館夫氏
9	絵葉書「(越中名勝) 越中高岡古城公園」	1	歴史	匿名希望
10	高岡彫刻塗銅盆「定塚町校後援会記念」	1	産業	匿名希望
11	「最新版 高岡市内地図」	1	歴史	匿名希望
12	「石塚嘉平建築工務所工事歴史覚書」	1	歴史	石塚仍康氏
13	兵隊盆(除隊記念盆/支那事变記念盆)	6	歴史	匿名希望
14	高岡市市制100年記念品 (38市を結ぶ・輪ふろしき/高岡関係テレホンカード)	7	歴史	匿名希望
15	藤子・F・不二雄デザイン NAKANOKAの紙袋	1	歴史	匿名希望
16	「軍隊手帳」等戦時下資料	18	歴史	匿名希望
17	一番新町絵図	9	民俗	一番新町自治会
18	タカザアスターゼ看板	1	民俗	正橋剛二氏
19	銭湯「朝日湯」資料	4	民俗	早川義治氏、 早川義一氏
20	水囊鈿	1	民俗	本田義郎氏
21	上皿秤秤	1	民俗	横田米雄氏
22	鳶口	1	民俗	匿名希望
23	腕用ポンプ(木津協力防護団)	1	民俗	木津地区
24	鳶口	4	民俗	木津地区
25	早苗西蔵筆「二行書」	1	美術	新保秀夫氏
26	第一回国勢調査関係資料	5	歴史	匿名希望
27	伏間金峰筆「四季花鳥図屏風」	2	美術	匿名希望
28	伏間金峰作「彩漆双鶏草花文手付茶櫃・銘々皿」	7	美術	匿名希望
29	ギンバカリ(銀秤)	1	民俗	大門隆氏
30	手燭	1	民俗	角谷登氏
31	中川菱香筆「唐人図」	6	美術	高橋寿守氏
32	御神木七本杉 置物台	1	歴史	手崎正之氏
33	山崎立山作「絵変わり蒔絵梅形銘々皿」	6	美術	匿名希望
34	中島秋園筆「松に雀園襖」	4	美術	橋本三氏
35	堀川敬周筆「三十六歌仙図屏風」	2	美術	古谷昭史氏
36	配置葉箱	1	民俗	匿名希望
37	大日本国防婦人会 たすき	1	民俗	匿名希望
38	「高岡市公報」	104	歴史	豊塚榮三氏
39	山岡鉄舟筆「漢詩屏風」(国泰寺千双屏風)	2	美術	高林礼一氏

郷土の歴史資料などの情報を求めています

歴史資料や生活資料は、社会の変遷や興亡の足跡を理解する上での貴重な文化遺産です。当館では、古文書・生活資料などの収集保存を行い展示に活かしたいと思っています。情報をお持ちでしたら、是非当館までご提供をお願いいたします。

高岡市立博物館 スケジュール 2016年4月～2017年3月

イベントスケジュール	
展示	イベント・講座
4/1 常設展「高岡ものがたり」 4/1 常設展「高岡ものがたり」 4/1 常設展「高岡ものがたり」	4/9 呈茶の会「松聲庵－博物館で抹茶を楽しみませんか－」 4/16 企画展「幕末維新風雲通信」展示説明会 4/30 郷土学習講座(1)「佐渡家資料と高岡」
5月	5/21 常設展「高岡ものがたり」展示説明会
6月	6/16 ミニ講座「高岡のみじかい話」
7月	7/23 特別展「高岡市平和都市宣言10周年記念 戦時下の暮らし」展示説明会①
8月	8/13 特別展「高岡市平和都市宣言10周年記念 戦時下の暮らし」展示説明会② 8/20 郷土学習講座(2)「戦争と子ども－学童集団疎開の記憶－」
9月	9/24 特別展「高岡市平和都市宣言10周年記念 戦時下の暮らし」展示説明会③
10月	10/10 古文書講座「初めての古文書教室」① 10/20 ミニ講座「高岡のみじかい話」 10/27 古文書講座「初めての古文書教室」②
11月	11/5 呈茶の会「松聲庵－博物館で抹茶を楽しみませんか－」 11/10 古文書講座「初めての古文書教室」③ 11/17 ミニ講座「高岡のみじかい話」 11/19 郷土学習講座(3)「江戸期の高岡の文人達－詩書画集『春藻錦機』を中心として－」 11/24 古文書講座「初めての古文書教室」④
12月	12/8 古文書講座「初めての古文書教室」⑤ 12/15 ミニ講座「高岡のみじかい話」 12/22 古文書講座「初めての古文書教室」⑥
1月	1/12 ミニ講座「高岡のみじかい話」
2月	2/4 館藏品展 展示説明会
3月	3/16 ミニ講座「高岡のみじかい話」

◆平成28年度 郷土学習講座「高岡を知る」(全3講)

本年度は、郷土高岡の歴史に関わる様々な話題について紹介いただく連続講座を開催します。

〔第1講〕「佐渡家資料と高岡」

講師：佐伯 安一氏

(高岡市文化財審議委員、佐渡家資料調査事業総括責任者)

日程：4月30日(土)

〔第2講〕「戦争と子ども－学童集団疎開の記憶－」

講師：須山 盛彰氏(富山近代史研究会理事)

日程：8月20日(土)

〔第3講〕「江戸期の高岡の文人達－詩書画集『春藻錦機』を中心として－」

講師：大西 紀夫氏(富山短期大学名誉教授)

日程：11月19日(土)

いずれも、

- ・時間：午後2時～3時30分
- ・会場：当館新館3階講堂
- ・定員：80名(先着順・申込不要)
- ・受講料：300円(当館親しむ会会員は200円。会員の方は会員証を忘れずにお持ちください)

◆平成28年度 古文書講座「初めての古文書教室」(全6講)

古文書は貴重な歴史の証言者です。郷土の歴史を再発見してみませんか？今年度も、古文書解読初心者の方を対象とした古文書教室を開催します。

- ・日程
〔第1講〕10月13日(木) 〔第4講〕11月24日(木)
〔第2講〕10月27日(木) 〔第5講〕12月8日(木)
〔第3講〕11月10日(木) 〔第6講〕12月22日(木)

- ・時間：午後2時～3時30分
- ・講師：仁ヶ竹直査学芸員
- ・会場：当館新館3階講堂
- ・定員：60名(申込順)
- ・受講料：2,000円
(当館親しむ会会員は1,800円)

・申込受付：9月13日(火)より開始
(定員に達し次第締切)

・申込方法：①電話②FAX③メールいずれかの方法で、住所・氏名・電話番号・勤務先名(高岡市外の方)・親しむ会入会の有無をお知らせのうえ、お申し込みください。



古文書講座「初めての古文書教室」

◆呈茶の会「松聲庵－博物館で抹茶を楽しみませんか－」

柔らかな日差しが降り注ぐ森の中の古いお茶室で、本格的なお茶席をお楽しみいただけます。古城公園へのお散歩がてら、どなたもお気軽にお立ち寄りください。

- ・日時：4月9日(土)、11月5日(土)
午前10時～午後3時
- ・場所：当館茶室「松聲庵」
- ・参加料：400円(お茶とお菓子)
※茶券は当日受付にて販売
- ・茶室見学会(聴講無料)
①午前10時30分～ ②午後1時30分～
- ・常設展示説明会(聴講無料)
①午前11時30分～ ②午後2時30分～



茶室「松聲庵」
※1日4,320円(税込)で利用可

◆特別展「高岡市平和都市宣言10周年記念 戦時下の暮らし」

平成18年3月18日、高岡市は「平和都市宣言」を議決し、今年はこの宣言から10周年となります。これを記念し、耐乏が強いられた戦時下での生活資料などを展示し、平和の大切さを改めて認識していただく機会とします。

- ・会期：7月23日(土)～10月10日(月・祝)
- ・会場：当館新館企画展示室
- ・入館料：無料



高岡市内での防火演習
(昭和10年代) 高岡市蔵



- 開館時間 —
午前9時～午後5時
(入館は4時30分まで)
- 休館日 —
毎週月曜日
(月曜日が祝・休日の場合はその翌平日)
- 年末年始
(12月29日～1月3日)
- 交通 —
高岡駅から徒歩約15分
- 入館無料 —